

12月定例会の審議結果と議員の賛否内訳

○は賛成、×は反対の議員、－は議長のため採決に加わっていません。

議案名	結果	柳沢章	塩原浩	櫻沢保	大島輝雄	田端恵美子	橋場倅男	内田三郎	櫻沢克幸	清水貞夫	根本孝代	原田敏夫
専決処分	平成29年度美里町一般会計補正予算	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度補正予算	美里町一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町国民健康保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町下水道事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町農業集落排水処理事業特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町介護保険特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町水道事業会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一条例改正	美里町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美里町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定	美里町工場立地法地域準則条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	町道路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

定住促進が加速！ より住みよいまちへ



平成29年第4回美里町議会定例会が、12月1日から13日までの13日間の日程で開催されました。この議会では、専決処分、平成29年度の補正予算、条例の一部改正等が全員賛成で可決しました。また、議員6名による一般質問が行われました。

平成29年度 補正予算

ほせいよさん

一般会計
補正予算

補正額… △254万9千円
補正後の額… 45億5,539万8千円

人事院勧告に伴う給与費のほか、以下の内容により減額補正するものです。

●歳出の主な内容

国の補助事業関係

- ・放課後児童健全育成事業委託料 360万6千円
子ども子育て支援交付金の改正により、学童クラブに対する交付基準額が増額となったため
- ・道路新設改良事業
路線測量等委託料 △4,400万円
交付金対象事業費が減ったため
- ・工事請負費等 1,430万円
工事実施可能な路線の早期完成のため
- ・災害対策事業（自主防災組織等のリーダー育成・連携促進支援事業） 195万4千円
防災リーダーの育成講座や防災講座に係る費用の他、会議室の整備に必要な備品の購入

県の補助事業関係

- ・予防対策事業（ミムリン健幸ポイント関係） 583万3千円
ミムリン健幸ポイント事業で歩数ポイントを3倍にすることに伴う商品券購入の増及び、歩数計を追加購入するため
- ・野菜産地強化整備支援事業費補助金 159万7千円
野菜生産組合への生産拡大のための機械購入費補助金

町単独の事業関係

- ・シルバー人材センター補助金 278万3千円
事務局体制を整備するために必要な、新たな臨時職員等の人件費相当分に係る町の補助金
- ・定住促進住宅奨励金 440万円
10月末時点での申し込み実績により、予算不足が予想されるため

ミニクアミupp質疑



工場立地法地域準則条例

問 町のイメージを考えると、緑地を減らすことが、今、必要な時期なのか。

答 美里町は、緑が豊かですから、進出する企業にとっては、緑地の面積が緩和されることによって、工場や、駐車場として利用できる面積が増えることとなります。なお、産業団地の場合には、住宅地との間に緩衝緑地を設けますが、これは緩和されません。

既存の工場への規制は。

答 対象は、農村地域への産業の導入の促進等に関する法律の計画区域にある、広木・南丁条・甘粕・産業団地の4地区で、既存の工場にも適用されます。また、業種も製造業や電気・ガス・熱供給業者が対象です。

道路改良事業

問 交付金4400万円の減で、今年度ブレイクがかかった分、来年度への意気込みはあるのか。

答 満額いただけるよう県等に要望し、鋭意努力していきます。

放課後児童健全育成事業委託料

問 3学童クラブへの助成となるが、どのように取り組んでいくのか。

答 国からの交付金が一部変更・改正となり基本額、開設・長時間延長の加算額で187万3500円、支援員に対する増額が161万2000円です。今後も、子ども・子育てに力を入れていきたいと考えています。

シルバー人材センター補助金

問 組織強化をするということで、人材を投入したのだろうか。

答 上部団体からの監査で指摘があったので、人員の充実を図りたいと思います。

人材育成について

問 町職員の人員が足りない中で、今後の人材育成をどのようにお考えか。

答 職員の平均年齢を見ますと、急激な若返りが起こっています。外部の研修機関と連携を取りながら積極的に職員参加を促し、仕事をどうやって進めていくか、町民の皆さんにしっかりとやっていくのがわかるような事務処理に取り組んでいるのが最中です。

